R82®

panda Futura™

取扱説明書

輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西１丁目４番２２号 梅田東ビル
ＴＥＬ(06)6371-0104 ＦＡＸ(06)6371-6400

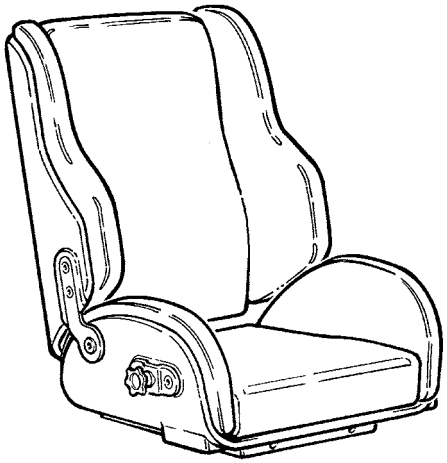
J
P

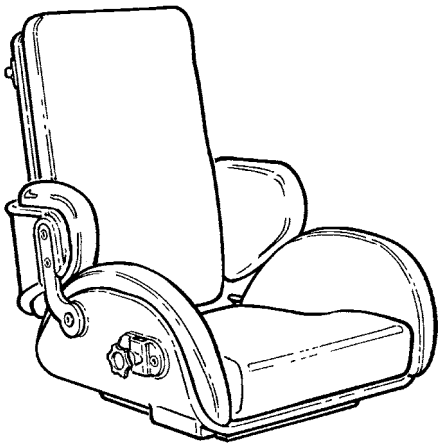
© 2010 R82 A/S. All rights reserved.
The R82 logo and the Panda Futura chairs are registered trademarks of R82 A/S.

07.2016 rev. 05

JP 目次

安全性 4
保証規定. 4
各種シート. 5
シートの取付け／取外し. 5
背もたれリクライニング. 6
背もたれ延長部. 6
ヘッド・サポート. 7
プッシュ・ブレス／プッシュ・ハンドル. 8
開閉式ショルダー・サポート. 9
サイド・サポート. 10
開閉式サイド・サポート. 10
開閉式ニー・サポート. 11
シート延長部. 11
フットレスト. 12
内転パット 12
フィックスロック（ベルト固定部品）. 13
アームレスト/テーブル. 14
クロス式ベルト/ベスト式ベルト. 16
胸ベルト. 16
5点式ベルト 17
新型 H 式ベルト. 17
骨盤ベルト（2点式）. 18
骨盤ベルト（4 点式）. 18
股ベルト. 19
アンクルベルト. 19
フット・ストラップベルト. 20
ハンドベルト. 20
H式ベルト. 21
防寒バッグ. 21
フード付レインキャップ. 22
お車での移動（その1）. 23
お車での固定方法. 24
製品識別（ラベル貼付位置）). 25
寸法表. 26
テクニカルデ ータ. 26
メンテナンス. 26
製造者. 26





JP PANDA FUTURA

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は快適な座位保持機能を必要とするお子様向けにつくられたシーティングシステムです。 Pandaシートは、スタンダードタイプとアクティブタイプの２タイプをご用意致しております。 スタンダードシートは、お子様の身体全体を包み込むトータルコンタクトを第一の目的としています。アクティブシートは、さらに自由な動きが可能なお子様向けです。
両タイプとも、座面・背もたれがそれぞれ独自にリクライニングするWリクライニング機構を標準装備致しております。そして多様な調節機能やアクセサリーにより、ご利用頂く方々にとって最高のパートナーとして皆様のご期待に添えるものと確信しております。
また屋内・屋外いずれにもご使用頂けます。 ご使用場所・目的に応じフレームをお選びください。
屋内使用 フロアーフレーム
High-Lowフレーム（屋内用）
屋外使用 High-Lowフレーム（屋外用）
車椅子フレーム
バギーフレーム
ご使用前に本取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解してください。 また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂きますようご活用ください。
● 本取扱説明書に記載されている内容、仕様等は予告なく変更される事がありますので予めご了承ください。（また日本ではお取扱いしていない製品も含まれております。）

JP 安全性

本製品はCEマークを取得しております。これはヨーロッパの安全規格を満たしている事を証明しております。

本製品を改造又はR82社純正部品以外の部品をご使用の際は貼付されておりますCEマークを外してください。

この車いすは ISO 7176/19-2001 + 16840-4:2009

に許可されていま す。

Panda Futuraは一人乗りです。二人以上お乗りにならないでください。

本製品をご使用の際には、必ず保護者の方が付き添ってください。また大人の方が管理するようにしてください。　誤ったご使用方法は、お怪我や事故を引き起こす可能性があります。　ご使用前に、製品にベルト等しっかり固定されているか確認してください。

必ずお子様にお付き添い、常にお子様から目を離さないでください。不適切な使用をされた場合、事故などの危険を伴う恐れがございますので大人の監督下で行ってください。 固定や調節方法がすべて正しく行われているか、また、アクセサリーが正しく取付けられているか、ご使用毎にご確認ください。

最新の取扱説明書については、下記ホームページでご覧いただけます。www.R82.com

JP 保証規定

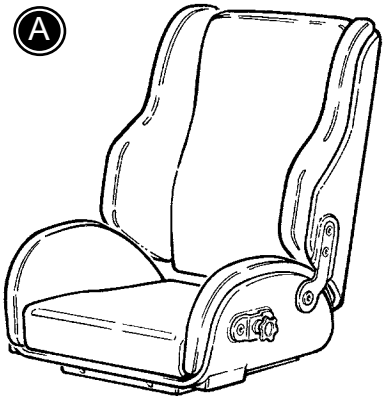
本製品は、製造上の不良に対して2年間の品質保証がなされています。但し、この取扱説明書に記載されている正しいご使用方法をお守りいただき、（お客様の責任において）定期的なメンテナンスを受けられていることを前提としております。お客様の過失なく、ご購入いただいた国でのご使用かつ製造番号の確認がとれた場合のみ保証が有効となります。
またこの品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定されるもので、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。これは最初の原購入者に限定されます。万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行います。
この保証はR82社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、認定の受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。
弊社は保証同意前に、その製品又は関連する書類を検査する権利を有しております。

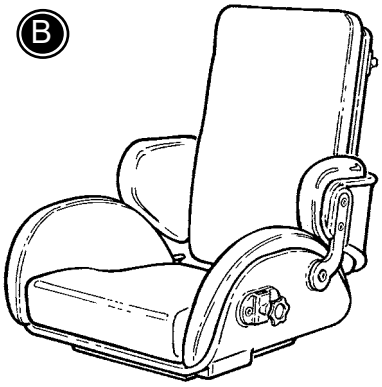
JP 各種シート

Panda Futuraのシートには、(A)スタンダードタイプ ５サイズ、(B)アクティブタイプ ４サイズご用意致しております。

アクティブシートは、上肢の動きをさらに広げられるように設計されており、活発なお子様に最適です。

スタンダードシートはトータルコンタクトを目的に設計されており、身体全面をサポートしたいお子様に最適です。お子様の症状に合わせシートをお選びください。両シートとも、アクセサリーを豊富にご用意しております。



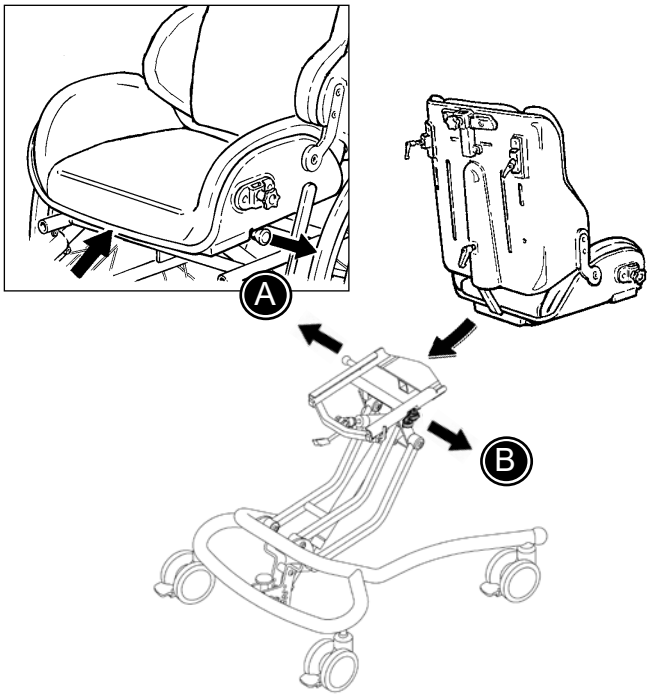


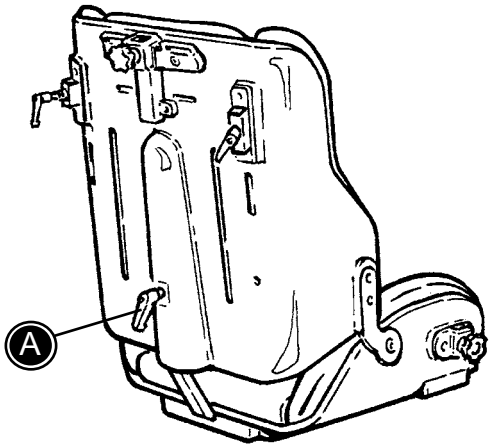
JP シートの取付け／取外し

<u>シートの取付け方</u>
アダプターにシートを載せ、「カチッ」と音がするまで奥に押してください。

> ⚠ 最初の穴で「カチッ」と音がしますがそれはセキュリティーロックです。更にもう一段階奥の穴に入れてください。

<u>シートの取外し方</u>
ノブを引き(A)、シートを前へ引き、同時に上げてください。

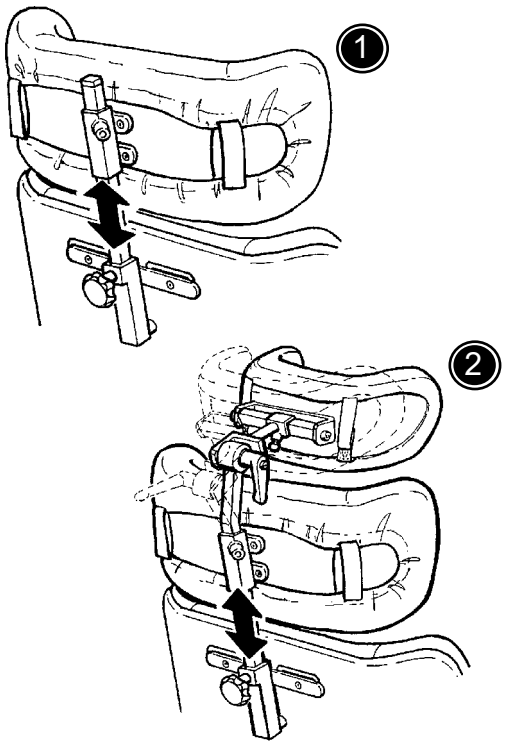




JP 背もたれリクライニング

ハンドル(A)を緩め、背もたれをリクライニングさせてください。

⚠ リクライニングの際は、シートが勢いよく倒れないように背もたれをしっかり持って調節を行ってください。



JP 背もたれ延長部

1）背もたれ延長部の高さ調節が行えます。
2）背もたれ延長部はヘッドサポートと同時にご使用いただくことが可能です。
その際は専用ヘッドサポート金具に交換してください

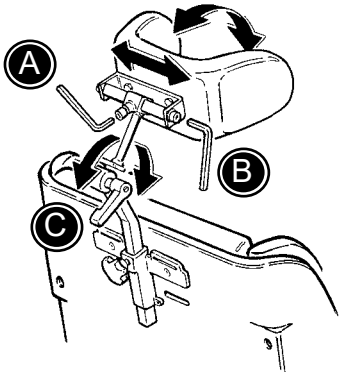
JP ヘッド・サポート

調節可能箇所
A)左右調節

B)角度調節

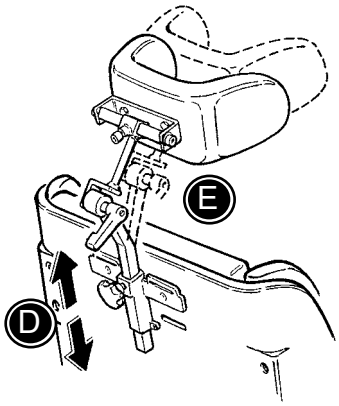
C)ヘッド・サポート金具角度調節

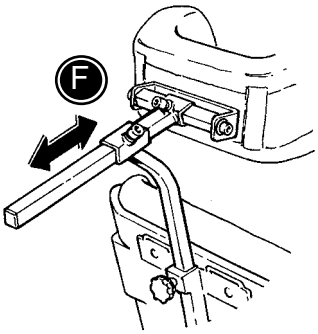
D)高さ調節

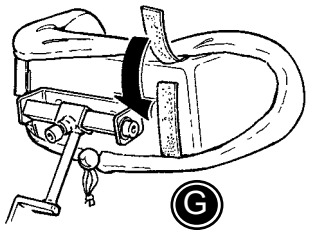


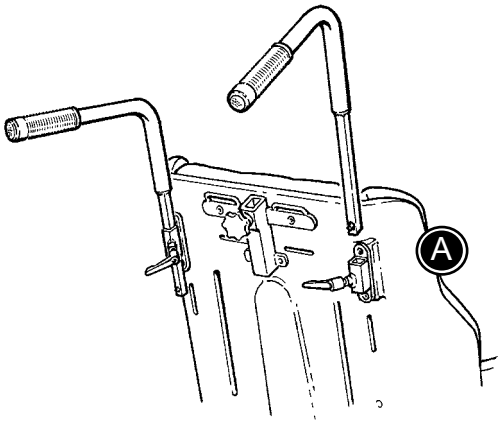
> A)～D)の調節は付属の６ｍｍレンチにて行えます。調節後は各ボルトをしっかり締めなおしてください。

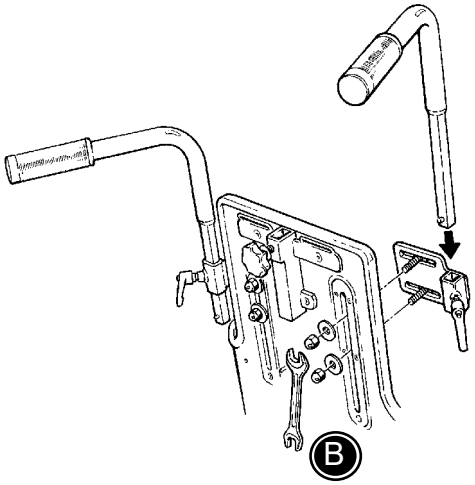
E)ヘッド・サポートのバーは、前方向にもサポートができるよう180°回転します。
F)スワンネック金具ではより前方にセッティングが行えます。
G)ヘッド・サポートにカバーを取付けてください。

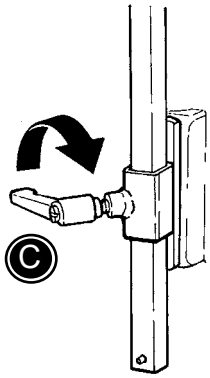












JP プッシュ・ブレス／プッシュ・ハンドル

PANDAスタンダードシート：
付属の六角レンチを使い、背もたれに取付金具をセットしてください。 (A) プッシュ・ブレス／プッシュ・ハンドルを取付金具に差込み、ハンドル(C)で固く締めてください。

PANDAアクティブシート：
図(B)のように、背もたれに取付金具をセットし、ハンドル (C) で固く締めてください。

JP 開閉式ショルダー・サポート

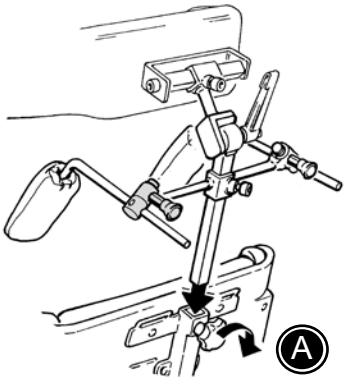
A) ショルダーサポートはヘッドサポートのバーに取付けられます。ヘッドサポートバーをシート背面の受け部品に差してください。

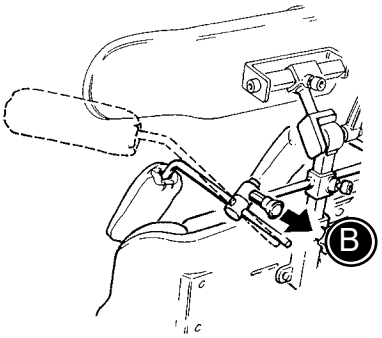
B) 解除ノブを引き、ショルダーサポートを動かしてください。

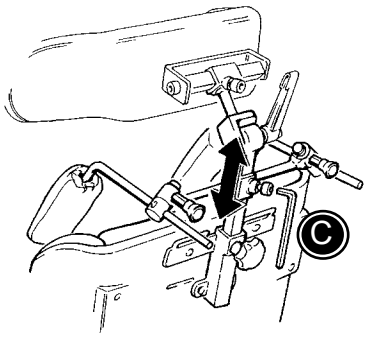
C) 六角レンチを使ってショルダーサポートの高さを調節してください。

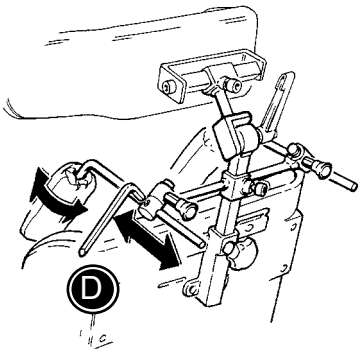
D) 六角レンチを使ってショルダーサポートの奥行を調節してください。

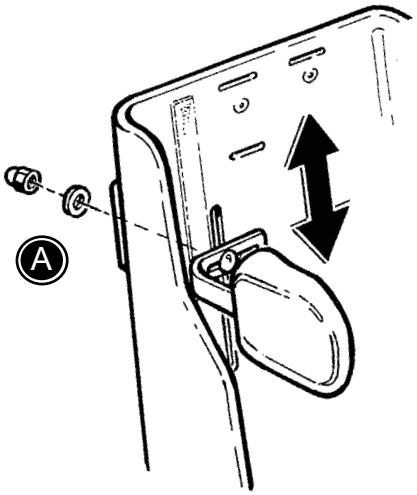
よりスムースな開閉機能を維持する為、定期的に開閉部品に潤滑油をふってください(目安：3ヶ月毎)





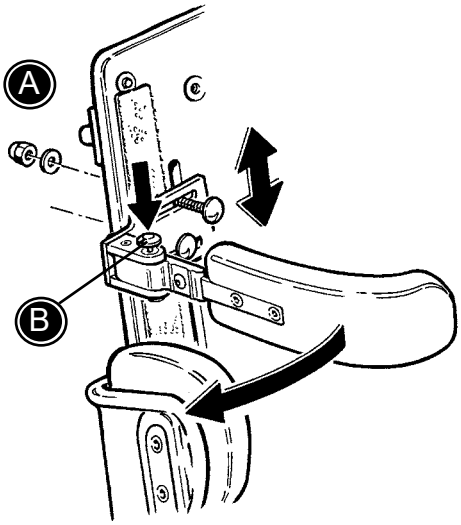






JP サイド・サポート

背もたれクッションを取外し、背もたれ通し口にサイドサポートを取付けてください(A)。



JP 開閉式サイド・サポート

背もたれクッションを取外し、背もたれ通し口に開閉式サイド・サポートを取付けてください(A)。

サイド・サポートは、赤いボタン(B)を押すと開きます。

⚠ よりスムースな開閉機能を保つ為、定期的に開閉部品に潤滑油をふってください(目安：3ヶ月毎)

JP 開閉式ニー・サポート

4mmレンチでシート下部に取付具(A)を取付けてください。ニーサポートを挿入し、6mmレンチで締めてください(B)。

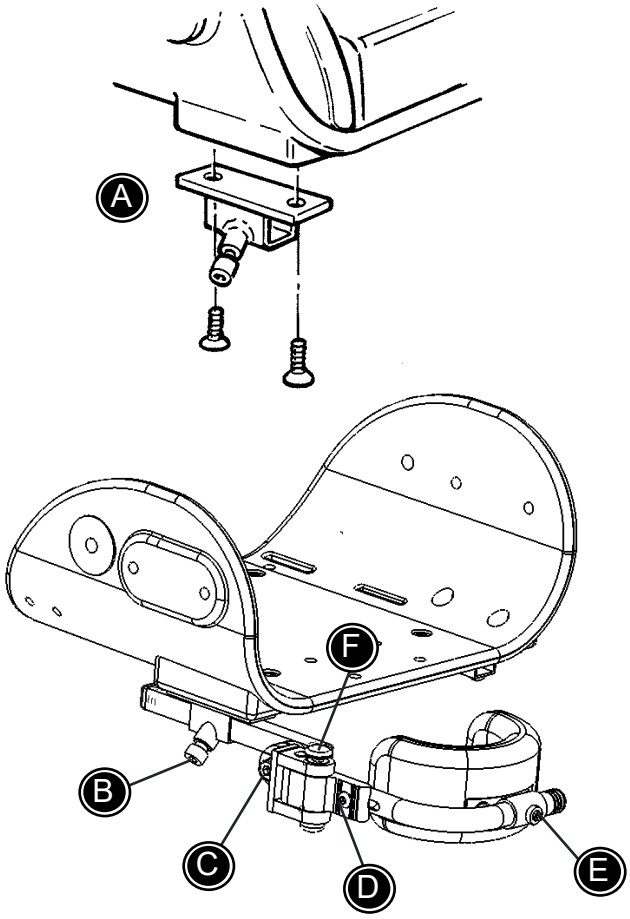
・6mmレンチでネジ(C)を緩め、ニーサポートのバーの角度を調節してください。

・4mmか6mmレンチでネジ(B)もしくは(D)を緩め、奥行きを調節してください。

・4mmレンチをお使い頂くと、ニーサポートの角度、左右調節ができます(E)。

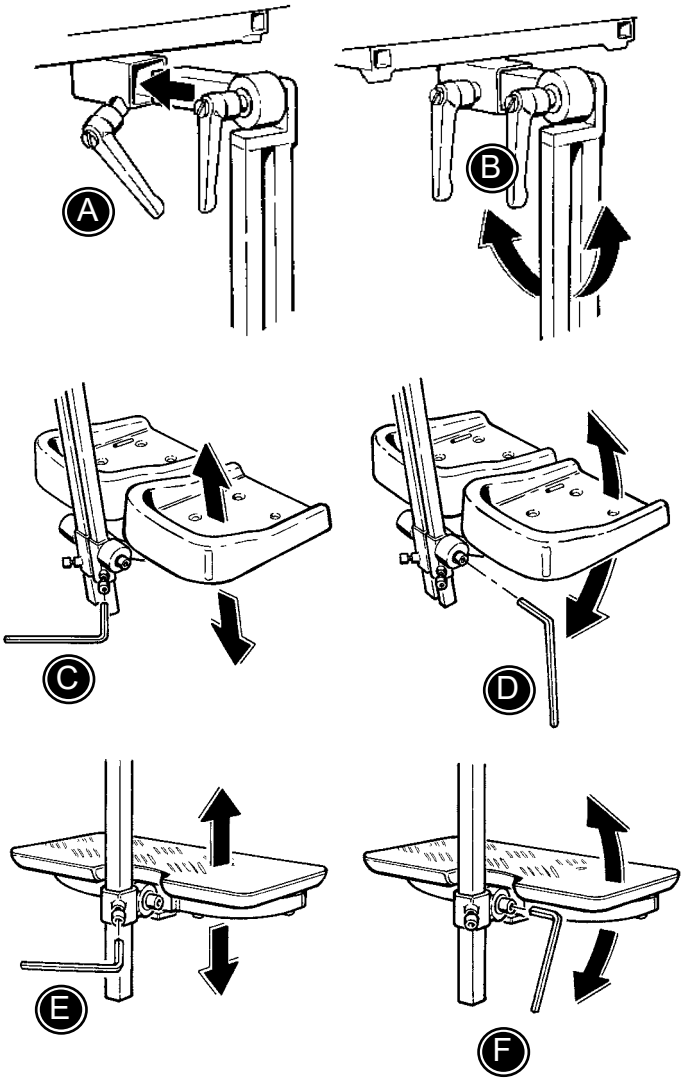
・赤いボタン(F)を押してニー・サポートの開閉を行ってください。

> ⚠ よりスムースな開閉機能を保つ為、定期的に開閉部品に潤滑油を ふってください（目安：3ヶ月毎）



JP シート延長部

シート延長部は、シートの下にあるアダプター)で締めてください。　に挿入して取付け、ご希望の位置に調節してください。
ハンドル(A) で締めてください。



JP フットレスト

A)フットレスト棒の奥行きを調節し、レバー付ボルトで固定してください。

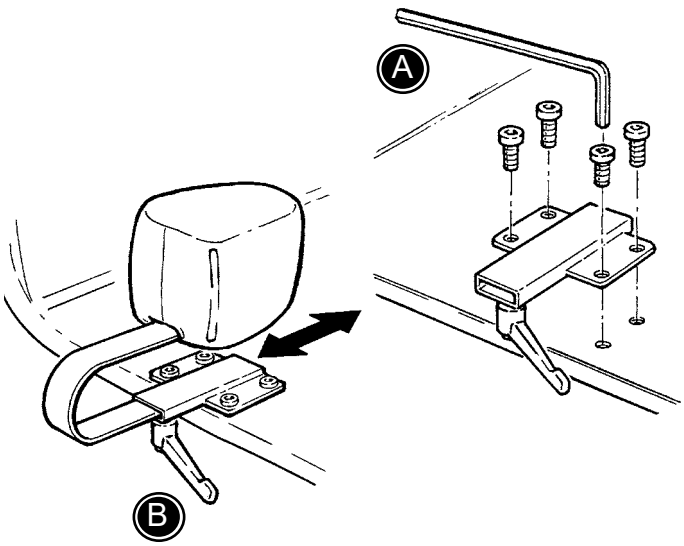
B)ハンドルを使って、フットレスト棒の角度を調節してください。

C)6MMレンチを使って、フットレストの高さを調節してください。

D)6MMレンチを使って、フットレストの角度を調節してください。

E)6MMレンチを使って、フットプレートの高さを調節してください。

F)6MMレンチを使って、フットプレートの角度を調節してください。



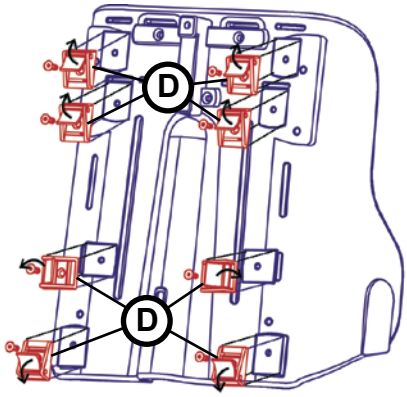
JP 内転パット

A)内転パットには、6MMレンチ、取付金具が同梱されています。

B)内転パットを差込み奥行調節を行ってください。

JP フィックスロック（ベルト固定部品）

簡単に素早くベルトを調節するために、フィックスロックをPandaシートに取付けることができます。骨盤ベルト（85427-x）、股ベルト（89112-xと89108-x）、5点式ベルト（89665-x）、新型H式ベルト（85428-x）、クロス式ベルト（89625-x）を素早く、そして正しい位置で締めることができます。付属のレンチにて取付けてください。



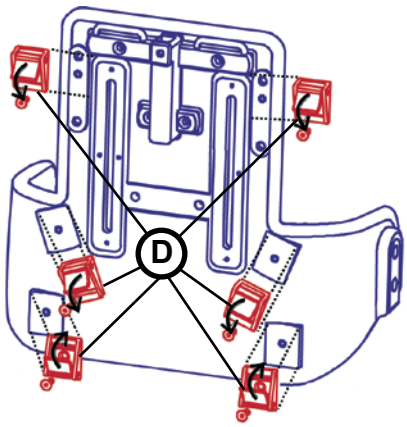
Standard

背もたれ部分に取付ける場合：

・フィックスロック（６個）を、背もたれに取付けてください。肩部側のフィックスロックは下の位置にも取付けられます。クッション側の中にベルト用ストラップを通して固定する事でよりベルトが肩にフィットします。（予め、カッターでクッションにストラップを通すためのスリットを開けてください）

・ 上記取付方法はクロス式

・H式等各種ベルトでご使用頂けます。



Active

注意：
ストラップは、取付けたあとに正しい長さで固定してください。

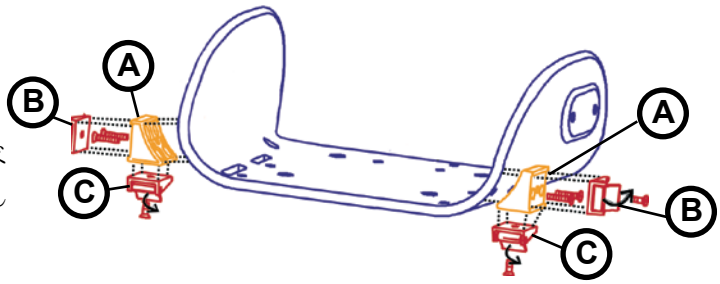
座面部分に取付ける場合：

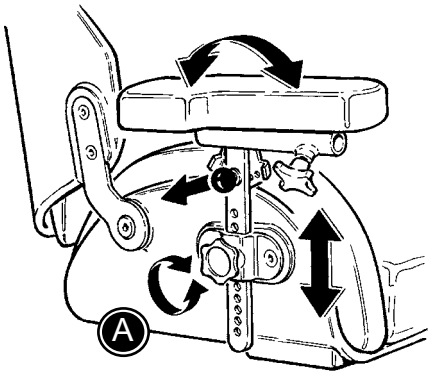
・シート左右側面に、アダプターブロック(A)を取付けてください。

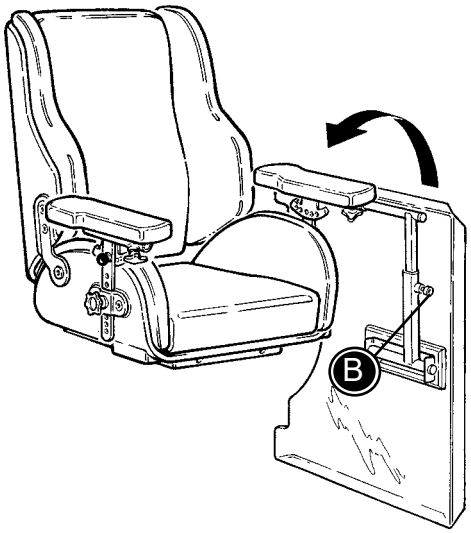
・フィックスロック(B)は、骨盤ベルト、股ベルト用のネジでシートの両側に取付けられます（股ベルトモデル89108）。

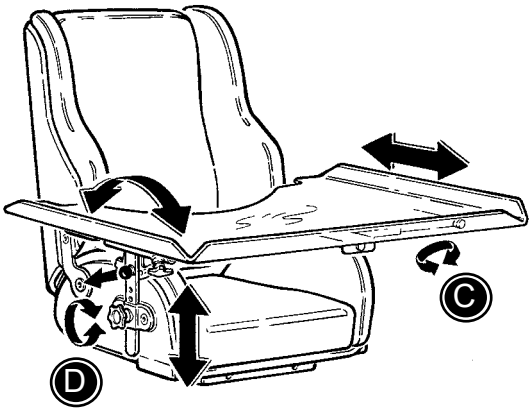
・ T-モデルの股ベルト（89112）を取付ける場合、フィックスロック(C)をシート裏側の両サイドに取付けてください。これらはネジ（Bセット）で 取付けられます。

・ ５点式ベルトをご使用の場合、フィックスロック2ヶ(C)を背もたれ部分の上部に取付けてください。









JP

アームレスト/テーブル

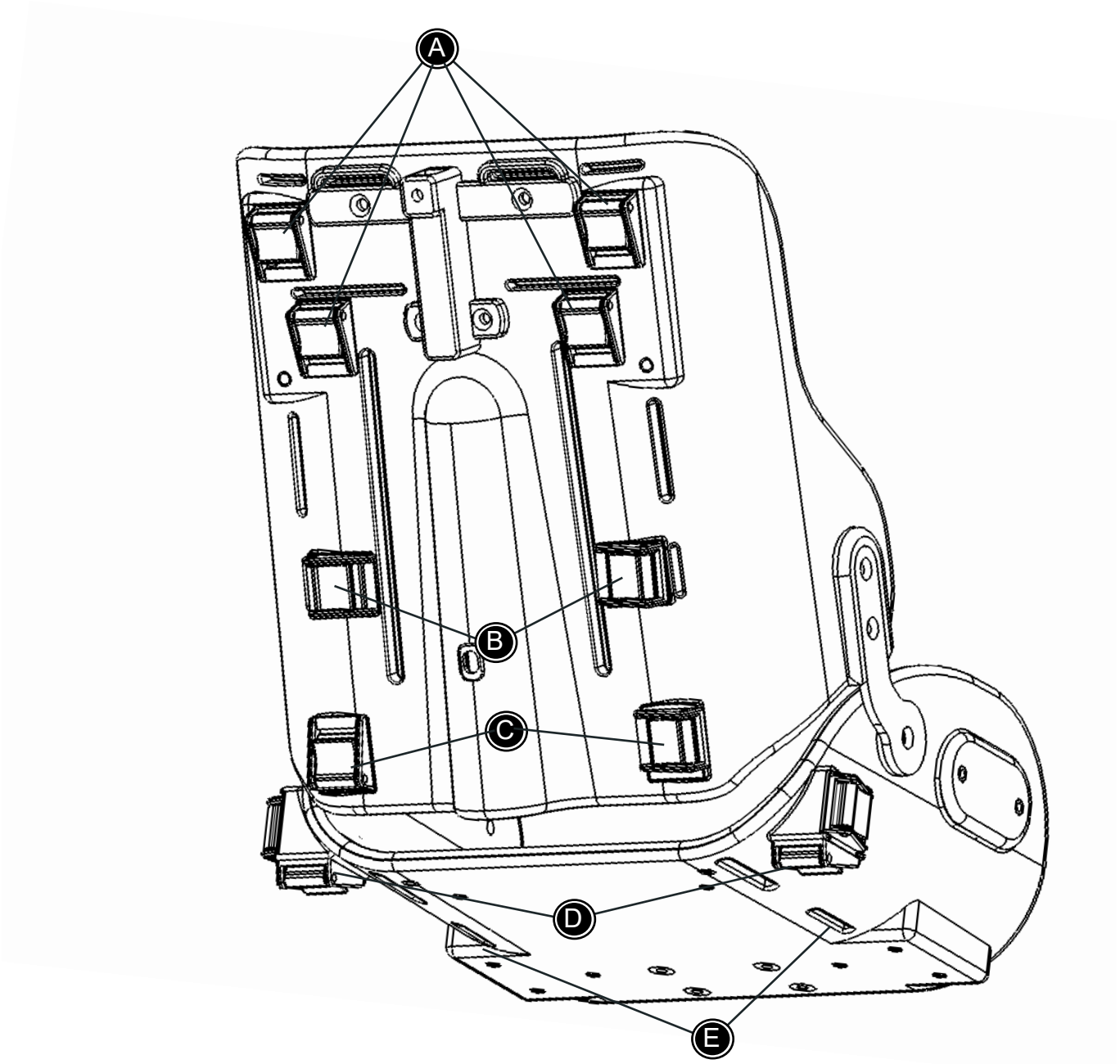
A) アームレスト高さ調節

B) テーブル左右調節

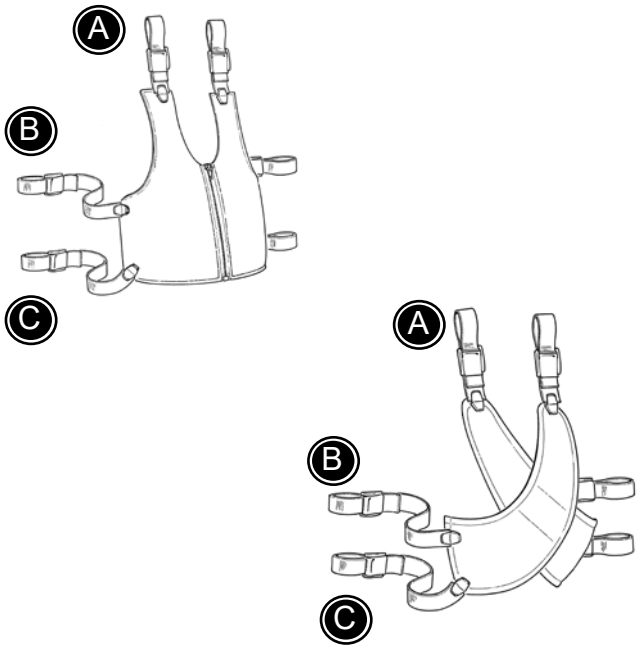
C) テーブル奥行き調節

D) アームレスト角度調節（アームレストの角度を変えると、テーブルの角度調節が行えます。）

⚠ アームレストがない場合、テーブルはご使用になれません。



次ページからの各種ベルト取付方法をお読みいただく際、上図（A～E）をご参照ください

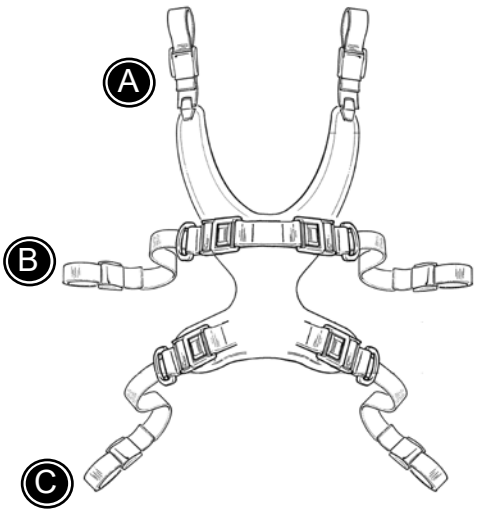


JP クロス式ベルト/ベスト式ベルト

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取付けてください（15ページ参照）
クロス式ベルト・ベスト式ベルトはバックルとジッパーで開閉することができます。
下記の手順に従って取付けを行ってください（17ページ参照）

＊肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。
＊骨盤側のストラップ（上側）をフィックスロック（B）に取付けてください。
＊骨盤側のストラップ（下側）をフィックスロック（C）に取付けてください。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。



JP 胸ベルト

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取付けてください（15ページ参照）
胸ベルトはバックルで開閉することができます。
下記の手順に従って取付けを行ってください（17ページ参照）

＊ 肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。
＊ 骨盤側のストラップ（上側）をフィックスロック（B）に取付けてください。
＊ 骨盤側のストラップ（下側）をフィックスロック（C）に取付けてください。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください 。

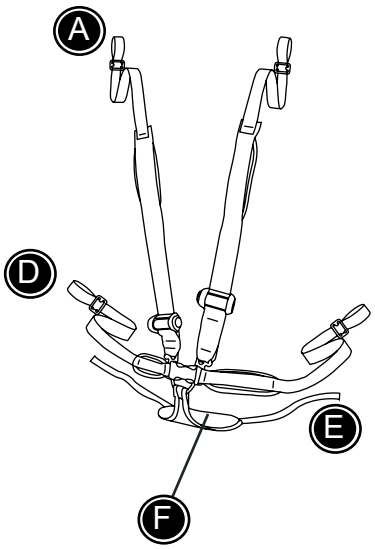
JP 5点式ベルト

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに 取付けてください（15ページ参照）

5 点式ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17ページ参照）

＊ 座面に取付いていますストラップ通し又はフィッ クスロック（D）にストラップ（E）を取付けてください。
＊ お子様を三角パット（F）の上に乗せてください。
＊ 両サイドのストラップ（D）を座面のスリッドを通
しフィックスロックで固定してください。
＊ 肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けて ください。



⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的に チェックしてください。

JP 新型 H 式ベルト

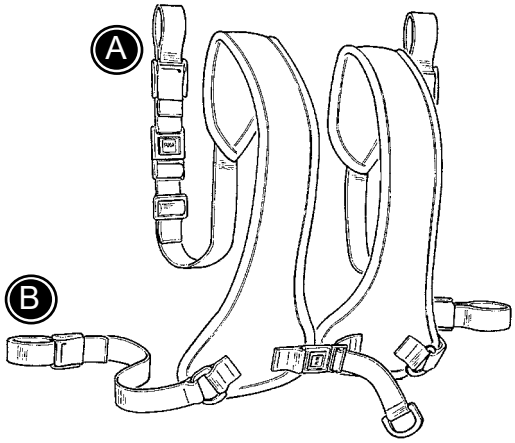
フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取

付けてください（15ページ参照）

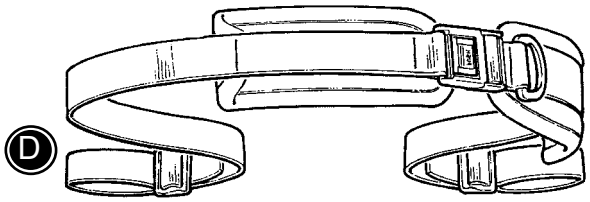
新型 H 式ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

＊肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けて 両サイドのストラップをフィックスロック（B）にください。取付けてください。



⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的に チェックしてください。



JP 骨盤ベルト（2点式）

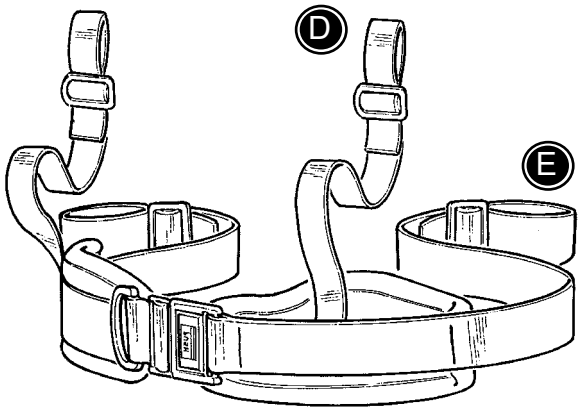
フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに 取付けてください（15ページ参照）

骨盤ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

＊ シート裏のフィックスロック（D）にストラッ プを取付けてください。

⚠ 固定 ・調節等正しく行われているか定期的 にチェックしてください。



JP 骨盤ベルト（4 点式）

フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに 取付けてください（15ページ参照）

骨盤ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

＊ シート裏のフィックスロック（D）にストラップを 取付けてください。
＊ シートの前側のスリッドを通してフィックスロッ ク（E）にストラップを取付けてください。

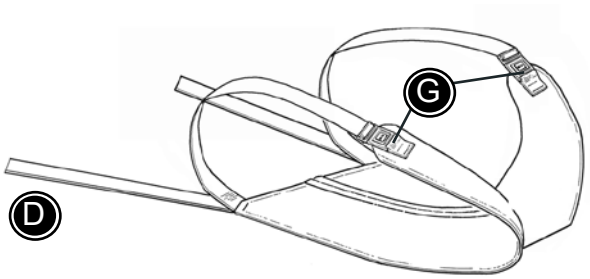
ストラップ（E） （D）の位置を逆にして頂いてもご使用いただけます。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的 にチェックしてください。

JP 股ベルト

フィックスロック（ベルト固定部品）を シートに取付けてください（15ページ参照）

下記の手順に従って取付けを行ってく ださい（17ページ参照）



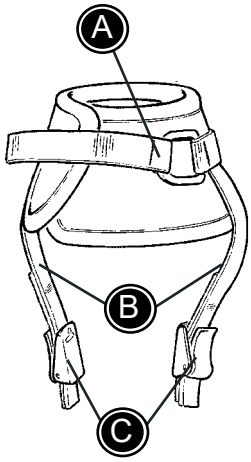
* バックル（G）を外してください。
* シート裏のフィックスロック（D）にストラップを取付けてください。 お子様をベルトの上に
* 乗せ、大腿部を覆うようにバックルでとめてく ださい。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか 定期的にチェックしてください。

JP アンクルベルト

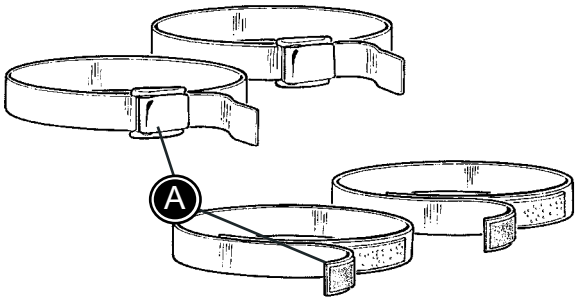
アンクルベルトはマジックとバックル（A） で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください



* バックル（C）を外してください。
* フットプレートに開いているスリッドにストラップ（B）を通してください。
* 最後にバックル（C）で固定し、づれていないか確認してください。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。



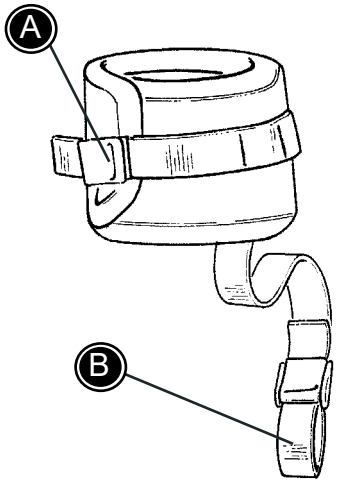
JP フット・ストラップベルト

フット・ストラップベルトはマジックとバックル（A）で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください

＊ フットプレートに開いているスリッドにストラップ（A）を通してください。
＊ お子様の足の周りにストラップを巻いてください。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。



JP ハンドベルト

ハンドベルトはバックル（A）で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください。

＊ お子様の手首にハンドベルトを巻いてください。
＊ アームレストバーにストラップ（B）を取付けてください。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

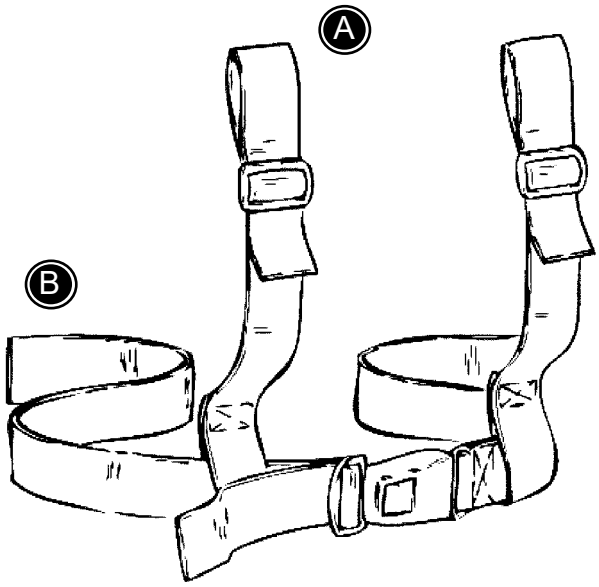
JP H式ベルト

フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに取付けてください（15ページ参照）

H 式ベルトはバックル（A）で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17ページ参照）

＊ 肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。
＊ 両サイドのストラップをフィックスロック（B）に取付けてください。

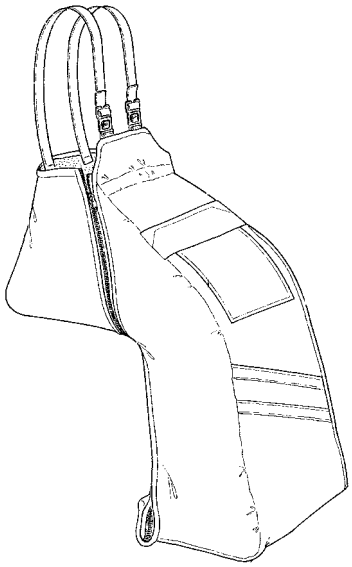


⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

JP 防寒バッグ

＊ 防寒バッグを椅子にセットしてください。
＊ ジッパーさい。
＊ ジッパーを上げてください。

防寒バッグには骨盤ベルトを取付けるためのスリッド（マジックタイプ）があります。



⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

JP フード付レインキャップ

レインキャップをお子様のお体から足台までシート全体にお掛けください。

⚠ 固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

この車いすは ISO 7176/19-2001 に許可されています。

お子様が本製品に乗った状態のままお車で移動することが認可されております。
　耐荷重につきましては本取扱説明書（寸法表）に明記されておりますのでご参照ください。

改造されましたシート・フレームにつきまして、お車でのご使用は認められておりません。

できるだけ、カーシート又は備付のシートベルトをご使用頂くことをお勧め致します。

車の中でシートとして使用する場合、車いすシートとフレームは、前向きになるように取付けてください。ISO10542-2 で認可された4　点式ストラップタイプ固定システムをお使いください。

ISO10542-1 で認可された3 点式ベルトを車椅子にご使用ください。アームレストや車輪といった車椅子部品から体がはなれることのないようにしてください。またISO10542 で認められていないベルトのみのご使用は避けてください。

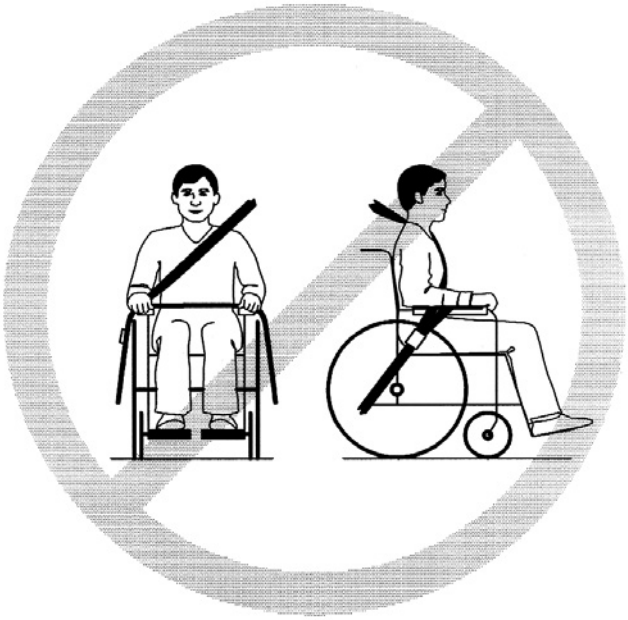
フレームを固定する前に前輪がフレームと同じ向きになるよう、前輪の向きを合わせて下さい。

アクセサリーはすべて車椅子からはずして車中で動かないようにしてください。車椅子から外せない、お子様に必要なアクセサリーは、アクセサリーとユーザー様の間に緩衝材をはさんで、お子様に当たらないようにした上で、車椅子にしっかりと固定して下さい。

JP ＜お車での移動（その1）＞

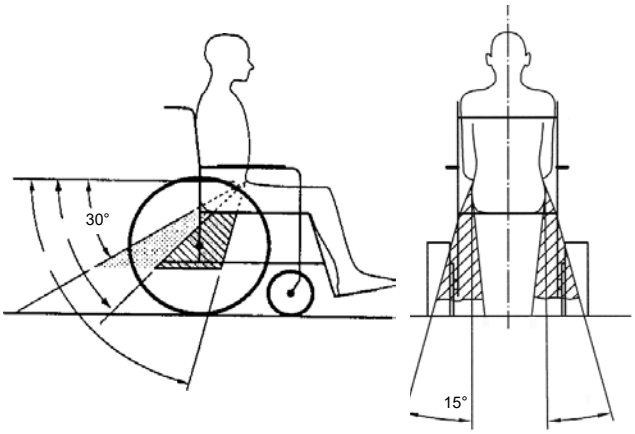
Combiフレーム/Multiフレーム/Servalフレームのいづれかにてお車でご使用される場合、シートとフレームは前方に向いた状態でセットしてください。

アームレストや車輪のような車椅子部品でシートベルトが体からはなれることのないようにしてください



自動車衝突事故にあった後に車椅子を使用する前には、販売店による製品点検を行ってください。

シートとフレームの準備についての次の手順はご使用前に行ってください。

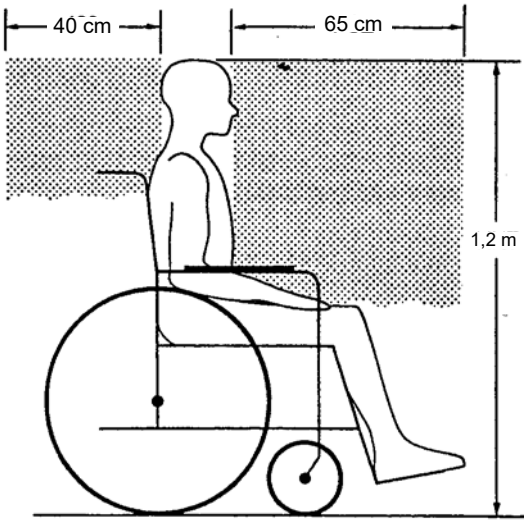


JP お車での固定方法

＊ お車に4点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。

＊ 車いすを固定される際はその4点式ストラップタイプ固定システムをお使いください。
その際車載金具（A)にフック又はストラップを通してください。

⚠ ISO-10542-2、SAE　J2249に認可された4点式ストラップ固定システムをお使いください。



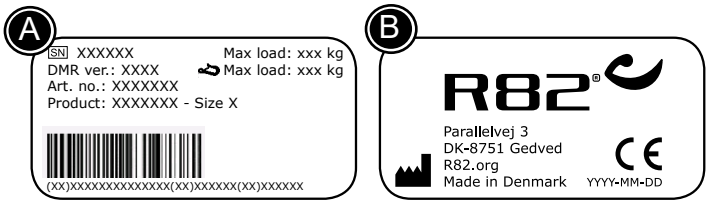
車内でのご注意点

＊ 発進されるまえに車いすから全てのアクセサリーを外してください。

＊ お子様は前向きにお座りください。

⚠ お車の中でお子様が移動される際は安全範囲内（C)にしてください。

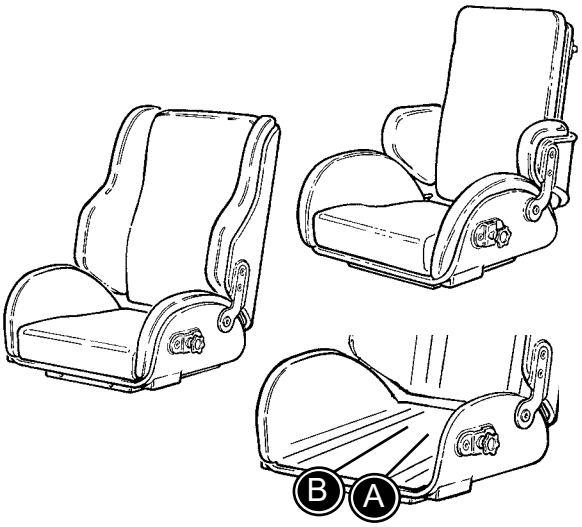
JP 製品識別（ラベル貼付位置））



Panda Futuraスタンダードシート、アクティブシート

A) 製造番号
クッション下のシート部分（右）

B) 製造者名
クッション下のシート部分（左）



JP 寸法表

シート	奥行き (mm)	幅 (mm)	背もたれ (mm)	アームレスト高さ (mm)	重量 (kg)	耐荷重 (kg)	耐荷重 (お車でご使用の際)	リクライニング角度
Panda ｱｸﾃｨﾌﾞ, 2	240	220	350	130-180	5,2	50	-	-4° - +27°
Panda ｱｸﾃｨﾌﾞ, 2½	280	250	380	130-180	5,6	50	-	-10° - +20°
Panda ｱｸﾃｨﾌﾞ, 3	310	290	400	130-270	6,2	50	-	-9° - +27°
Panda ｱｸﾃｨﾌﾞ, 4	360	320	450	170-300	7,5	60	-	-6° - +17°
Panda ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ, 1	220	220	290	130-180	5,7	50	27	-3° - +28°
Panda ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ, 2	240	220	390	130-180	5,7	50	27	-15° - +32°
Panda ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ, 2½	280	250	410	130-280	6,2	50	43	-10° - +35°
Panda ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ, 3	310	290	440	130-270	7,3	50	43	-5° - +36°
Panda ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ, 4	360	320	520	180-270	8,7	60	43	-5° - +30°

耐荷重（お子様の体重　お車での移動の際等）に関する詳細は下記ホームページをご参照ください。：
www.R82.com/files/archive/Publications/Pdf/Chart_transport.pdf

JP テクニカルデ ータ

シート：ABS（アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン）リサイクル可能
クッション：耐火発泡ウレタン
カバー：ポリエステル100%
フレーム：スチール製（クロミウム塗装）

JP 製造者

R82 A/S
Parallelvej 3
8751 Gedved

JP メンテナンス

Panda Futuraのカバーは取り外しができ、最高 30℃のお湯で洗うことができます。品質維持の為、フレームのお手入れを行ってください。

⚠ 各開閉部分につきましては、少なくとも6ヵ月ごとにチェックと注油をしてください。

⚠ 車輪についた汚れや泥を拭き取る際には、乾いた布をお使いください。塩素や変性アルコールを含む洗剤は使わないでください。

⚠ Panda Futuraを安全にお使いいただくために、少なくとも6ヵ月ごとに販売店による点検を受け、ネジなどの緩みがあれば締めてもらってください。

⚠ ドラム式ブレーキをお使いの場合には、正しくブレーキが作動するようにワイヤーを締めてください。少なくとも6ヵ月ごとに販売店による点検を受け、ネジなどの 緩みがあれば締めてもらってください。

⚠ タイヤのスポーク関係は、定期的に販売店又はお近くの自転車修理店などの専門家に調節してもらってください。

⚠ ガスダンパーには、圧力をかけたり、高温の場所に置いたり、穴を開けたりないでください。

⚠ この取扱説明書に記載されていない調節につきましては、販売店にご相談ください。